

asian youth orchestra

アジアユースオーケストラ厚木公演 2026

待望の厚木初公演。アジアの選ばれし若き精鋭100名が集結
今この場所でしか出会えない、魂を揺さぶるシンフォニー

2026年8月21日(金)
19:00開演(18:30開場)

指揮：ジョン・アクセルロッド (客演指揮者)
John Axelrod, Guest Conductor

ピアノ・ソリスト：ステファン・シエ
Stephan Xie, Piano Soloist

◆チャイコフスキー：イタリア奇想曲
Tchaikovsky: *Capriccio Italiana*

◆プロコフィエフ：ピアノ協奏曲 第3番
Prokofiev: Piano Concerto No.3

◆ショスタコーヴィチ：交響曲 第5番
Shostakovich: Symphony No.5



特別出演：株式会社龍角散
代表取締役社長 藤井隆太



厚木市文化会館 大ホール

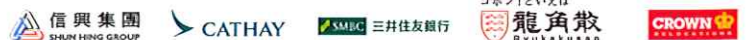
(小田急小田原線「本厚木駅」下車、北口より徒歩13分)

入場料	全席 4,000円	4月13日(月) 発売
	指定 S席 3,000円 B席 2,000円 (税込み)	
大学生以下・65歳以上は全券種とも500円引き。※都合により曲目を変更する場合があります。		
お問い合わせ予約	内村チケットオフィス TEL:0467-77-7129 窓口(10:00~17:00) cdr45250@ae.auone-net.jp	
チケット取り扱い	■厚木市文化会館チケット予約センター 046-224-9999 teket https://teket.jp ■チケットぴあ https://pia.jp/ ■イープラス https://eplus.jp/ ■ローソンチケット https://l-tike.com/ ローソン、ミニストップで直接販売	

アジアユースオーケストラ日本事務局 <http://ayonihonjimukyoku.com>

※未就学児のご入場はお断りいたします。

Platinum Patron Official Travel Sponsor Tour Partner Concert Partner Logistics Partner



主 催：アジアユースオーケストラ実行委員会 特別協賛：YKK

共 催：日本経済新聞社 NIKKEI

後 援：文化庁 厚木市 厚木市教育委員会

100名のアジアユースオーケストラ (AYO) のメンバーは、中国、香港、台湾、日本、韓国、インドネシア、マレーシア、フィリピン、シンガポール、タイ、ベトナムの11カ国・地域での厳しいオーディションをくぐり抜け、天津Juilliardでの3週間のリハーサル・キャンプに続き、国際的に活躍する著名な指揮者やソリストとの3週間のツアーを行い、毎夏約6週間の活動をしています。

1990年以来、受賞歴のあるAYOは、アジア、ヨーロッパ、アメリカ、オーストラリアで456の公演を行い110万人もの観客を魅了してきました。これまで17歳から29歳までの2.5万人もの音楽家がオーディションを受けてきました。

創立から36年でチェロ奏者のヨーヨー・マ、ミッシャ・マイスキー、ワン・ジャン、アリサ・ワイラー・ジュタイン、ヴァイオリン奏者のゴドン・クレメル、ギル・シャム、エルマー・オリヴェイラ、ヤン・ウク・キム、諏訪内晶子、チョーリヤン・リン、服部百音、ソプラノのエリー・アメリング、ピアニストのアリシア・デ・ラローチャ、セシル・リカド、レオン・フレイシャー、ジャン・ルイ・ストイアマン、ボザール・トリオらと共演しました。

また指揮者には、首席指揮者のジェームズ・ジャッド、名誉指揮者のセルジュ・コミッショナー、アレクサンダー・シュナイダー、タン・ドゥン、オッコ・カム、マッティアス・バマート、ジョセフ・バステリアンそして偉大なる音楽家である故

ユーディ・メニューインと創設者リチャード・パンチャスを迎えてきました。ポルティモア響、ボストン響、バッファローフィル、アトランタ響、サンフランシスコ響、モネ響、トリプル・ヘリックス・ピアノ・トリオ、ボストン音楽院、ビーボディ音楽院、天津Juilliard音楽院などからの音楽家による指導を受けています。

2010年高松宮殿下記念世界文化賞若手芸術家奨励賞、2015年第20回日経アジア賞(文化・社会部門)を受賞したAYOは、中国本土においては海外からのどのオーケストラよりも多くの都市・地域でコンサートを行い、ベトナムでは過去50年において初の海外からのオーケストラ公演となりました。1997年に香港と北京でおこなわれた香港返還式では、タン・ドゥンの『交響曲1997』の世界初演でヨーヨー・マと共演しました。

ホワイトハウスや国連本部、ニューヨークのエイブリーフィッシャーホール(デビッド・ゲフィン・ホール)、ハリウッド・ボウル、アムステルダム・コンセルトヘボウ、ベルリンのコンツェルトハウス、ウィーン・コンツェルトハウス、シドニーのオペラハウス、そして日本や東南アジアの国々で演奏して来ました。

音楽を志すアジアの青少年が、アジアにおいて自分達で音楽を作り上げることに誇りを感じ、有名アーティスト達との共演やツアーを経験することを通じて、優秀な才能が育まれ成長していくことを、AYOの真の目的としています。



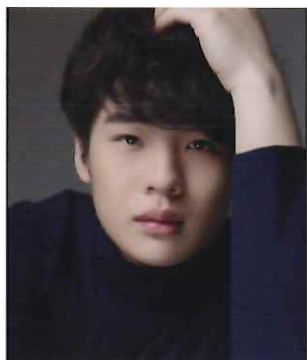
ジョン・アクセルロッド John Axelrod (客演指揮者)

ジョン・アクセルロッドは現代曲を含む幅広いレパートリー、革新的なプログラミング、そしてそのカリスマ性で世界各国のオーケストラから常に共演を望まれている指揮者のひとりです。ルツェルン交響楽団・歌劇場の音楽監督兼首席指揮者、フランス国立ロワール管弦楽団音楽監督、王立セビリア交響楽団音楽監督、ミラノ・ジュゼッペ・ヴェルディ交響楽団首席客演指揮者、京都市交響楽団首席客演指揮者を歴任しました。また、2009年から2011年にはウィーン・コンツェルトハウスでのORFウィーン放送交響楽団との映画音楽ガラ・コンサート「ハリウッド・イン・ウィーン」の音楽監督も務めました。現在、スイス国立管弦楽団音楽監督兼首席指揮者、ブカレスト交響楽団首席指揮者。これまでにバイエルン放送響、ベルリン放送響、ハンブルク北ドイツ放送響、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管、パリ管弦楽団、ロンドン・フィル、フィルハーモニア管、ローマ・サンタチェチーリア管、トリノRAI国立響、ロイヤル・ストックホルム管、オスロ・フィル、スウェーデン放送響、ザルツブルク・モーツァルトテウム管、さらにワシントン・ナショナル響、ロサンゼルス・フィル、フィラデルフィア管、シカゴ交響楽団、上海交響楽団等、これまでに150以上の世界各地のオーケストラを指揮、度々再招聘されています。

オペラ指揮者としても意欲的な活動を展開、シェフを務めたルツェルン、ロワールでの数々のプロダクションはもちろん、パリ・シャトレ座、ミラノ・スカラ座、フィレンツェ歌劇場での「キャンディード」の成功は特筆に値します。

また、現代作品の紹介にも積極的に取り組み、カイヤ・サーリアホ、イェルク・ヴィトマン等の初演を手掛けています。レコーディングも数多く、グレンツキ《悲歌のシンフォニー》、「Brahms Beloved」(ブラームスの交響曲、クララ・シューマンの歌曲を収録)は特に高い評価を得ています。最新盤はシューマン交響曲第4番の初稿と改訂稿をカップリングした「シューマン 41/51」。

日本においてはNHK交響楽団、東京都交響楽団、読売・日本交響楽団、金沢オーケストラアンサンブル、京都市交響楽団などの交響楽団から招聘され、有名な指揮者として高い評価を得ています。



ステファン・シエ Stephan Xie (ピアノ・ソリスト)

2025年天津ジュリアード・ピアノフェスティバル優勝者のステファンは、中国の伝統芸術を継承する家庭に生まれ、8歳で音楽の道を歩み始めました。ロイヤル・コンサーヴァトリー・オブ・ミュージックの「フィル&イーライ・テイラー・アカデミー・ヤング・アーティスト・プログラム」プレカレッジ部門でマイケル・ベルコフスキー博士の指導を受け、その後イェール大学音楽院でボリス・ベルマンとヤン・ウェイ(楊維)に師事しました。現在はシンガポールのヨン・シウ・トゥ音楽院でアン・ニン(寧安)の指導を受けています。

ステファンは数多くの国際コンクールで受賞歴があります。アメリカで開催されたベーゼンドルファー / ヤマハ USASU 国際ピアノコンクールで第2位に入賞し、15歳でトロントのケルナーホールにてロイヤル・コンサーヴァトリー・オブ・ミュージック・アカデミー室内管弦楽団とデビューを果たし、早くもその類い稀な音楽的成熟度と感受性で批評家の称賛を受けました。第5回カナダ全国ショパンコンクールでグランプリを受賞し、続く第18回ワルシャワ国際ショパンコンクールでは第4次予選まで進出しました。

ステファンは北米、ヨーロッパ、アジアで幅広く演奏活動を行っています。特にフランス・パリのサル・コルトーやウィーンのエステルハージ城での演奏に招かれたことは特筆に値します。2021年にはポーランドの複数の会場で開催された「国際ショパンとそのヨーロッパ音楽祭」に参加しました。最近では、張国勇マエストロに招かれ、貴陽交響楽団と数回にわたり共演し、その後アジアの複数の都市でピアノリサイタルシリーズを行っています。

ツアースケジュール AYO 2026

8/2 天津	8/12 ~ 13 ハノイ	8/20 千葉
8/4 北京	8/16 嘉義	8/21 厚木
8/7 ~ 8 香港	8/18 台北	8/22 東京